

日本共産党都議団報告

2017年第一回定例会特集 | 電話 03(5320)7270 FAX 03(5388)1790 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1
都政へのご意見・ご感想をお寄せください

豊洲百条委 「明らかに became した」 石原元知事の関与

新資料を手に石原元知事
を調査するおはしめ記
3月20日「都議会写真」
百条委員長として人前に立つ
石原元知事「都議会」3月
20日「都議会写真」

いったい誰がどのようにして、豊洲移転を決めたのか——強い調査権限をもった百条委員会が、3月11日から始まりました。共産党都議団の追及で、「都政の闇」である豊洲移転の真相の一部や、自らの責任を認めない石原元知事の関与が明らかになってきました。

共産党都議団の尋問で明らかになった4つのこと

石原知事は知っていた①
移転予定地の汚染

石原知事は知っていた②
東京ガスの負担軽減

交渉の出発点で
都と東京ガスが密約

重要な情報を
東京ガスにもらした疑惑

石原知事は知っていた① 移転予定地の汚染

石原元知事は、小池現知事の質問状に対して、市場移転する豊洲は、東京ガスの工場跡地とは知らず、汚染も知らなかったとの態度をとってきました。しかし、吉田信夫都議の、石原元知事は本当にガスの工場跡地と知らなかったのかの質問に、当時の中野市長(※築地などの市場を扱う部局のトップ)だった石原元知事は、「初めて聞きましただけ、信じられなかった」と答えた。この質問状に対する石原知事は「知らない」と答えた。この質問状は、責任逃れは許さないと、石原知事は「責任は誰の責任だ」と答えた。

石原知事は知っていた② 東京ガスの負担軽減

石原氏は、土地の売買をめぐる、どのような契約だったか知らなかった、当も押していない、と記者会見で発言していました。しかし、それはじめ都議は、都が東京ガスと土地の売買契約を結ぶ前に、その内容を知事に説明した資料を入手。資料をいじり、石原氏のウソをあげました。この資料には、原因者負担の原則に反し、都が行う土壌汚染対策の費用86億円(当時)に対し、東京ガスはわずか8億円を負担するだけでよいことが明らかになっています。

交渉の出発点で 都と東京ガスが密約

東京都は、東京ガスに土地を売ってもらうためには、東京ガスがやる汚染処理は全部でなくともよいという合意を結んでいました。吉田都議は、その事実を示す都と東京ガスの「確約書」を示し、東京ガス側に認めさせました。吉田都議は、その事実を示す都と東京ガスの「確約書」を示し、東京ガス側に認めさせました。

重要な情報を 東京ガスにもらした疑惑

土地の売買価格は、都の審議会が決まります。ところが都は、また評価中の豊洲の土地価格を不動産鑑定士から聞き出し、東京ガス側に流していた疑念が、その都議、かち佳代子都議の尋問で明らかになりました。検討中の金額をもらすのは、公務員の守秘義務違反です。



豊洲市場の移転先である豊洲地区の汚染調査に、資料をみせている吉田信夫都議(左)、東京ガス社長(右)。

豊洲移転反対「水産仲卸の7割」

築地市場で働く水産仲卸業者の7割にあたる393業者が、豊洲市場への移転中止を求めていると、3月14日、築地市場で働く女性たちでつくる「築地女将(おかみ)さん会」が発表しました。昨年の移転延期決定後、移転中止を求める仲卸業者の実数が出たのは初めてです。



豊洲移転を中止し、築地再整備の本格検討を

都が3月19日に発表した豊洲市場の地下水再調査では、環境基準の100倍のベンゼン、そして環境基準を上回るヒ素、シアンなどが27の再調査地点のうち25地点で検出され、地下水汚染が深刻なことが明らかになりました。

豊洲市場の地下水汚染は、市場として安全・安心が保障できない致命的な欠陥です。東京ガス豊洲工場跡地に市場を移転する計画の破たんは明白であり、移転は中止すべきです。

これに対し、築地市場の一部でヒ素が環境基準の2.4倍検出されたことや

米軍のガソリンスタンドなどによる汚染が心配されています。しかし、豊洲市場のように大量のタンクに含まれたケースとは違うため、その揮発性によりベンゼンが土壌中に残留しているものは少ないと考えられています。豊洲市場の汚染は、築地市場の汚染とは質的に全く違うのです。しかし、築地市場についても、汚染状況の調査を行い、必要な対策をとることは当然です。同時に、石原都政以来18年にわたり必要な修繕・補修が行われていないため、本格的な改修を行うべきです。そして、現在地での再整備について、市場関係者の合意を得ながら本格的に踏み出すことが必要です。

北区選出

曾根はじめ

日本共産党都議団



都民本意の政治をとりもどすため
17人の共産党都議団でがんばります